

# グローバル中小型株式ファンド

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第3期(決算日2023年6月19日)

作成対象期間(2022年6月18日～2023年6月19日)

### 第3期末(2023年6月19日)

基準価額	11,711円
純資産総額	49百万円
第3期	
騰落率	22.9%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル中小型株式ファンド」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、RMグローバル中小型株式マザーファンドを通じて、日本を含む先進国および新興国の中小型株式への投資を行い、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

当ファンドにおけるSDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率はマンスリーレポートに記載しています。下記URLをご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120018/mokuromi.html>

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

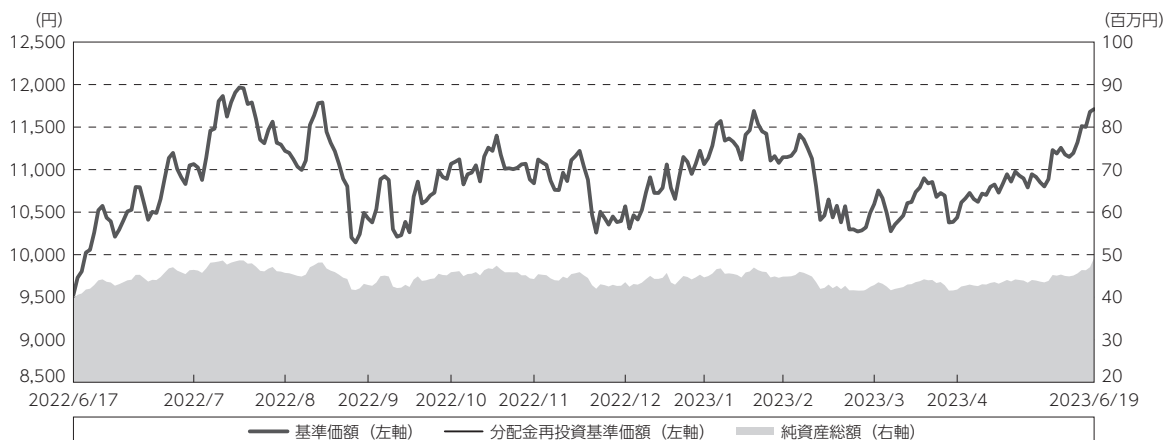


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2022年6月18日～2023年6月19日)



期 首：9,528円

期 末：11,711円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：22.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年6月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

欧米で信用リスクに対する懸念が一時高まった際、中小型株の上値が重くなる場面もありましたが、株価調整の進んだグロース株の反発がプラスに寄与した結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年6月18日～2023年6月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	179	1.659	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 88)	(0.813)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 88)	(0.813)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.106	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 11)	(0.106)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.023	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 2)	(0.023)	
(d) そ の 他 費 用	23	0.216	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 22)	(0.208)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	215	2.004	
期中の平均基準価額は、10,806円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

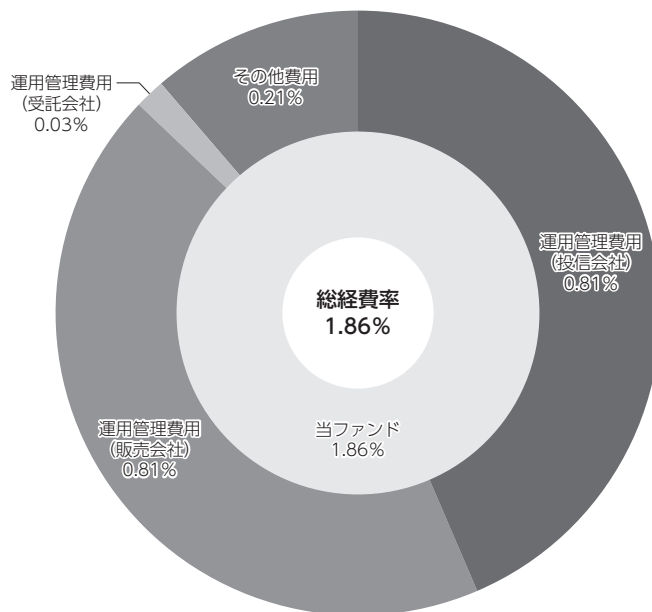
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年6月18日～2023年6月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2020年10月6日です。

	2020年10月6日 設定日	2021年6月17日 決算日	2022年6月17日 決算日	2023年6月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,752	9,528	11,711
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	37.5	△ 30.7	22.9
純資産総額 (百万円)	1	45	39	49

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年6月17日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行による大幅利上げや物価高によるコスト増加懸念などから、企業業績の先行き不透明感が強まり、株式市場は不安定化しました。期後半は、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧の金融システム不安が強まり、下落する場面もみられました。金融システム不安が小康状態入りするなか、主要国中央銀行による利上げ最終局面入りや日銀による金融緩和継続による買い安心感からグローバルの株式市場は上昇しました。

## 為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、円は日米金利差の拡縮に連動して推移しました。2022年10月には円安米ドル高が急速に進み、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられましたが、同年12月の日銀による長期金利の変動許容幅拡大などを背景に円高米ドル安が進みました。その後は内外金融政策の方向性の違いが改めて意識され、円安米ドル高基調で推移しました。

ユーロに対して、ECB（欧州中央銀行）は大幅利上げを急速なペースで進めるなか、1ユーロ＝155円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は円・米ドルの双方に対して通貨高となりました。地域別では、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国では利上げ進行の影響などから通貨高が進行しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年6月18日～2023年6月19日)

## 当ファンド

RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

## RMグローバル中小型株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は97.8%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

## &lt;プラス要因&gt;

## ■ クオンテリクス（米国）

同社はタンパク質を高い感度で検出する機器を製造しています。同社製品は従来のタンパク質検出法と比較して1,000倍以上の感度で検出できるのが大きな特長です。この特長が最も生かされる領域が神経系で、脳疾患の診断を低コスト・低侵襲（身体に負担を与えない）で行うことやアルツハイマーなど

神経系疾患の創薬加速につながることを期待され、有効な治療法を求める社会要請に応えるものとして評価しています。当期は同社顧客が開発していた複数のアルツハイマー治療薬において市販が決定したことや良好な後期治験データが得られたことが好感され、株価は上昇しました。

#### ■ アビオメッド（米国）

同社は医療機器メーカーで、心臓を休ませて回復させるという新たな概念のもと、開胸せず低侵襲で設置が可能な心臓補助ポンプを開発しています。同社の画期的な補助ポンプの導入により過去数十年間変化の無かった蘇生率に改善がみられたことが社会的に評価され、米国を中心に普及が進んでいます。2022年11月に米ジョンソン・エンド・ジョンソン社による同社の買収が決定されたことで、買収価格に収れんする形で株価は大幅に上昇し、当ファンドでは売却を実施しました。

#### <マイナス要因>

#### ■ テレパフォーマンス（フランス）

同社は世界的なコールセンター業務等の受託会社で、品質の高いサービスと多言語への対応力を背景に多くのグローバル企業を顧客として抱えています。企業のアウトソース需要の高まりを受けて安定的に業績が拡大するなか、顧客企業が生産性を改善させ、新たなイノベーションの創造にリソースを振り向けていけるよう裏から支える企業として評価していました。しかし、同社コロンビア拠点で不適切な労働環境にあると報じられたことで株価が大幅に下落したことから、真偽については不透明な部分は残るものの、中長期での業績にネガティブな影響が出る可能性を考慮して即座に売却を行いました。

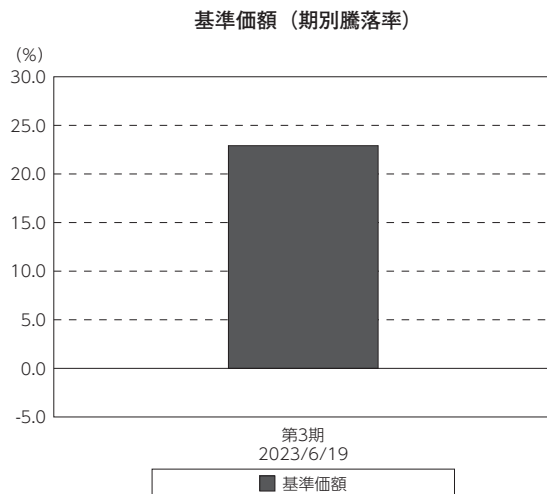
#### ■ ITM パワー（英国）

同社は水を電気分解して水素を生成する電解槽の製造企業で、可搬性や柔軟性に優れるPEM（固体高分子）型電解槽で高いシェアを有しています。水素は燃やしても温暖化ガスを発生させないクリーンなエネルギーとして認識されていますが、風力や太陽光などの再生エネルギーを利用して作られた水素は「グリーン水素」と呼ばれ、特に注目されています。当期において株価は、商業化への見通しが想定よりも遅れていることが嫌気され、大きく下落しました。当ファンドでは、長期的な成長見通しに変化は無いものの、業績への具現化が先延ばしになったことを踏まえ、ウェイトを抑制して継続保有する方針としています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年6月18日～2023年6月19日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

(2022年6月18日～2023年6月19日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第3期
	2022年6月18日～ 2023年6月19日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,710

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

### RMグローバル中小型株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場・商品やその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式相場は米国での利上げサイクル終了との見方が広がり、反発を強めていますが、一方で欧米主要国での金融引き締め長期化に伴う世界的な景気後退への懸念は依然として強く、株価は先行き不安定な動きが予想されます。当ファンドでは外部環境の変化に伴う様々なリスクを勘案しつつ、中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うことで、高成長を継続することができる銘柄の選択に努めます。

## お知らせ

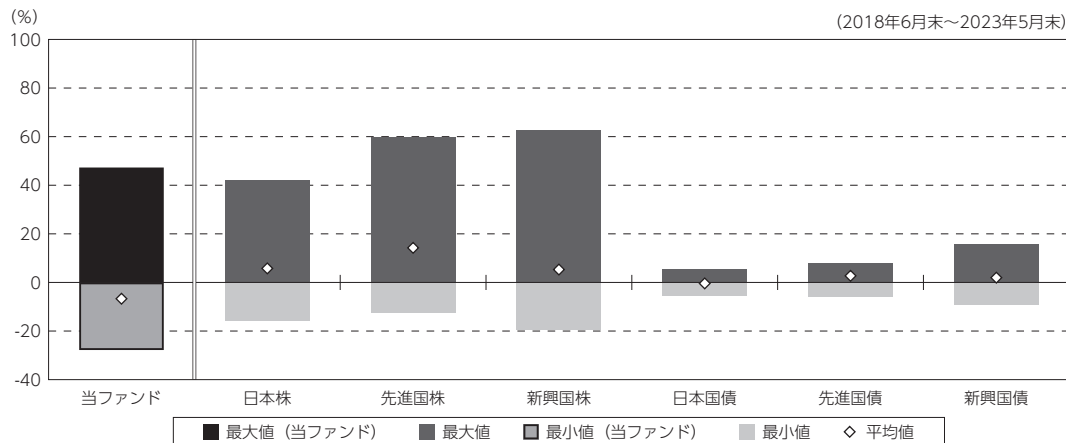
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年10月6日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル中小型株式ファンド	・RMグローバル中小型株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
運用方法	<p>①主として、マザーファンド受益証券への投資を通じ、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている中小型株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。</p> <p>*上場予定、店頭登録予定を含みます。</p> <p>*DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。</p> <p>②社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 27.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	△ 6.7	5.8	14.2	5.3	△ 0.4	2.7	2.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年6月から2023年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年10月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年6月19日現在)

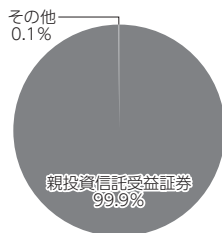
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
RMグローバル中小型株式マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

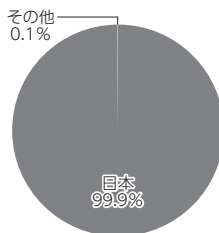
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

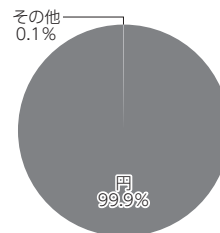
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

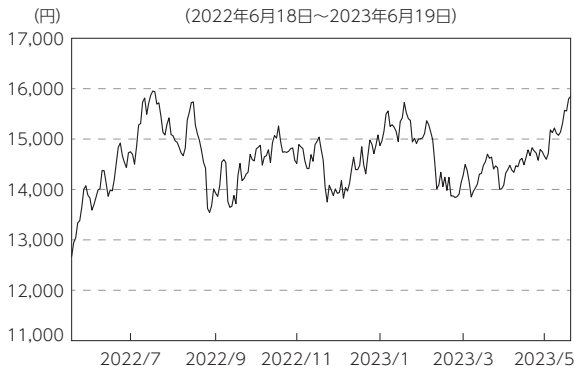
項目	第3期末
	2023年6月19日
純資産総額	49,185,377円
受益権総口数	42,000,308口
1万口当たり基準価額	11,711円

(注) 期中における追加設定元本額は5,225,875円、同解約元本額は4,882,657円です。

組入上位ファンドの概要

R Mグローバル中小型株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月18日～2023年6月19日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	16 (16)	0.107 (0.107)
(b) 価証券取引税 (株 式)	3 ( 3)	0.023 (0.023)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	30 (30) ( 0)	0.209 (0.207) (0.001)
合 計	49	0.339

期中の平均基準価額は、14,488円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

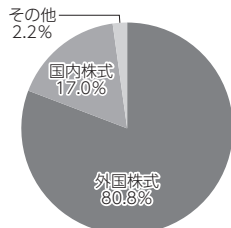
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	INSULET CORP	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	5.8%
2	ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	5.2%
3	QUANTERIX CORP	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	4.2%
4	ILLUMINA INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	4.0%
5	SREホールディングス	不動産業	円	日本	3.3%
6	ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	消費者サービス	米ドル	リベリア	3.1%
7	RATIONAL AG	資本財	ユーロ	ドイツ	3.1%
8	SHOCKWAVE MEDICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.0%
9	CLOUDFLARE INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.0%
10	ANSYS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.8%
	組入銘柄数			47銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

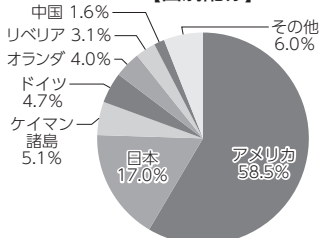
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

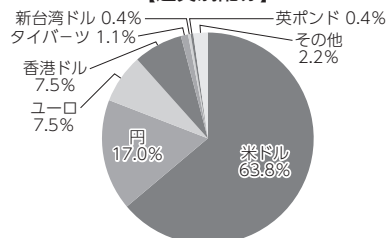
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年6月19日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。